

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.10 2004年3月30日

目 次

学術局から	1, 2	臨床奮戦記	4
社会局から	2	理事会・委員会報告	5
施設紹介	3	求人情報・事務局から	6, 7

学術局から

1. 第4回研修会の報告

平成16年3月14日(日) 千葉市療育センターふれあいの家にて、千葉県言語聴覚士会平成15年度第4回研修会を開催しました。今回は小児分野の症例検討会で、発表者及び助言者は以下のとおりでした。

参加者は52名(うち会員・会友36名、会員外16名、学生0名)

発表1:「アスペルガー障害疑い児のST診療とその背景」 小宮山 則彦 先生(亀田クリニック)
発表2:「構音獲得に困難を示した言語発達遅滞の一例」 依田 美都 先生(帝京大学市原病院)
助言者:田中 康雄 先生(国立精神・神経センター

国府台病院)

知念 洋美 先生(千葉リハビリテーションセンター)



症例検討会の後、2グループに分かれて懇親会を行いました。各グループでは助言者及び発表者の先生方が中心となって、症例についての相談や

意見交換、臨床で役立つ情報交換等がなされました。当日行ったアンケートでは「とても良かった」7名、「普通」、「期待していた内容と異なった」は各0名でした。以下に、アンケート結果の一部をご紹介します。

研修会の感想

- ・病院のSTとしてアスペルガー障害のケースに援助する時、何ができるかを示していただいてとても参考になりました。また、構音の問題を主訴としても全体的な評価が欠かせないことを改めて実感できたので、良かったです。
- ・具体的にどのような指導を行っているのかを聞くことが出来、大変勉強になりました。田中先生のお話も今後の参考になることばかりでした。
- ・子どもたちにいろいろなサービスが受けられるということが、まだわからず苦労している子が多いので(周囲の理解等)更に的確な支援がすすむように努力したいと思います。

学術局より

前年度より症例検討会を行うようになり、小児がテーマのものでは2回目となりました。ご発表の方は詳細なご報告をしてくださいり、またフロアからのご意見も多数出され、有意義なディスカッションがなされました。他職種(教員の方など)のご参加も多く、職種間の連携の重要性についても再確認できる機会となりました。懇親会は、少人数で詳しく症例相談や情報交換がなされ、有意義な場となりました。今後も皆様の研修会へのご参加とご意見をお待ちしております。

2. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。
貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、
氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390
円分）を貼って送ってください。

あて先：〒272-0004 市川市原木1862

千葉県立市川養護学校小学部 野島 洋子
貸し出しびdeo：

「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

「重複障害児のAAC - 日常生活とST訓練を結ぶ」

講師 知念洋美先生 千葉リハビリテーションセンター

「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」

講師 安田清先生 千葉労災病院

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院
及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練
と生き甲斐作り - 」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語
獲得に向けて - 」

講師 長崎勤先生 筑波大学

* 貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。

ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。

ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

今年度より、希望者に研修会資料の配布を行います。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼って送ってください。

あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：

上記のビデオ、および以下のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表1：「高次脳機能障害のため復職に問題のあ

った脳外傷症例への支援」武田智子先生

（千葉中央リハビリセンター 前・加曽利病院）

発表2：「介護現場での失語症者との関わり方」

酒井千代先生（佐倉ホワイエ）

症例検討会「小児」

発表1：「アスペルガー-疑い児のST診療とその背景」

小宮山則彦先生（亀田クリニック）

発表2：「構音獲得に困難を示した言語発達遅滞

の一例」依田美都先生（帝京大学市原病院）

社会局から

1. 支援費制度のアンケートについて

支援費制度における言語訓練の現状調査のため、アンケートを実施いたしました。アンケートの最終的な送付数は60通、回答者数は25通、回収率は41%でした。このアンケートの情報に関しては、HPなどを通して、会員のみならずひろく皆様に提供できるようにしたいと考えております。なお、アンケートのご返送は隨時お受けしておりますのでご協力ををお願いいたします。

2. ホームページについて

情報公開について

昨年9月に実施いたしましたアンケートの結果に基づき、ご希望のあった施設に関する詳細情報をHP上に公開いたしました。この情報に関して、変更や追加などのご希望がありましたら社会局までご連絡ください。

ホームページについて

皆様からのご意見や情報を待ちしております。

[会員専用ページパスワード] affordance

社会局では、ホームページの編集作業のお手伝いをしてくださる方を募集しております。ご協力をぜひお願いいたします。

3. 部員について

社会局員としてリオネット城南の大谷武夫氏、社会局広報部部員として千葉中央メディカルセンター（旧：加曽利病院）の皆元沙織氏、大穴さくら苑の三原芳絵氏が承認されました。

施設紹介

千葉中央メディカルセンター

(旧 加曽利病院)

ST 武田智子

【施設概要】当院は千葉市若葉区にある272床の一般・急性期病院です。脳神経外科、歯科口腔外科など約20の診療科をもち、年間約4000台の救急車を受け入れ、急性期から亜急性期を中心とし回復期までの一貫した治療を行なっています。その中でもリハビリテーション部門は総合リハビリテーション施設および60床の回復期リハビリ病棟として、PT20名、OT10名、ST2名、助手4名のスタッフによる365日体制のリハビリテーションを実施しています。

【STの業務内容】常勤ST2名が担当する患者様の多くは脳卒中の方で、対象となる主な障害は高次脳機能障害、運動性構音障害、摂食・嚥下障害です。その他、口腔咽頭ガン等の患者様にも対応しています。

昨年より、念願であったVF検査を開始し、摂食・嚥下障害に対してより正確な評価・治療が可能となりました。

特徴としては急性期～回復期～外来まで同じ担当者が訓練を行ないますので、患者様の経過が把握でき、より信頼関係が築きやすいことです。

【病院名変更のご案内】平成16年4月の電子カルテシステム導入予定に伴い病院名称も千葉市全体の急性期医療に貢献するという意思を込めて千葉中央メディカルセンターに変更することになりました。

今後も患者様に対して真の支援となるリハビリをめざし、STの質の向上、訓練内容の充実、地域との連携等に努力してまいります所存です。どうぞ宜しくお願ひいたします。

所在地：〒264-0017 千葉市若葉区可加曽利町

1835-1

TEL：043-232-6927 FAX：043-232-9100

E-mail: rihabiri@ccmc.seikei-kai.or.jp

柏の葉北総病院

ST 岡田 淳一

ST 木村佐知子

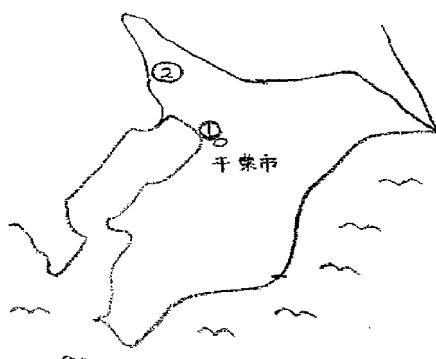
柏の葉北総病院は、平成14年にオープンした病院です。のどかな柏の葉公園や県立柏の葉サッカー場に隣接しています。系列病院には鎌ヶ谷市に第二北総病院があります。

当院は医療保険型・介護保険型・特定疾患型の様々なタイプを有する全92床の療養型病院です。また、神経内科等の外来診療も行っています。470m²の広いリハビリ室には設備も充実し、PT5名・OT2名・ST2名のスタッフがいます。

STの対象は、主に成人の脳卒中後や変性疾患等による高次脳機能障害、運動障害性構音障害、嚥下障害、失語症などです。回復期から維持期にかけて、ゆっくりと療養しながら、または在宅から外来通院をしながら、じっくりとリハビリを受けることができます。早期退院が叫ばれる中、言語的には長期的なフォローが必要な患者様はたくさんいらっしゃいます。入院・外来ともにそんなニーズに応えられる体制を整えています。いつでもお気軽にお問い合わせください。また、開放的なリハビリ室では、患者様やご家族、スタッフのいつもにぎやかで明るい声と笑顔が溢れています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

所在地：〒270-0113 流山市駒木台233-4

TEL：04-7155-5551 FAX：04-7154-8954



臨床奮戦記

「病院に依存的になってしまっている患者様にSTとしてできることは?」

失語症の慢性期にありますが、何年も継続して病院へ通い続けてSTの外来を受けている患者様がいます。

Aさん：40代女性、発症は5年前。非流暢性失語症中重度。

通院日以外は日中テレビを見て過ごすのみで、外出することもほとんどない。年齢も若く、友の会などへの参加は拒否されている。ご本人はリハビリに対しても意欲はなく、家族に言われてしぶしぶ来院している。

Bさん：60代男性、発症して1年半経過。非流暢性失語症重度。

頑固な性格で入院時よりリハビリ拒否、少しづつ慣れてきて退院後は週に1回外来で通院するようになる。その頑固さ(怒って怒鳴りつける)に家族は疲れており、病院に来ているときだけは開放され、またご本人も病院に来ることが生活のリズムの一つとなってきた。友の会などは拒否。

Cさん：70代男性、発症から1年半経過。失語症極軽度で、身体に麻痺もなく車を運転して来院。普段は娘と二人暮しで、交友関係もあまりない。外出の機会もほとんどなく、病院に来ることが楽しみとなっている。

3名とも、日中はなにもせずに家で過ごし、病院に来る時以外は外出することができません。言語機能的には大きな改善は認められない時期となり、その意味でST外来を終了にしてしまうと友の会やデイなど地域参加への拒否される人、または適応でない人もおり、そのため行き場を失い、家に閉じこもってしまうおそれがあります。そのような方々にSTとしては言語機能の回復を目指すというよりも、閉じこもり・家族の負担などを軽減するために病院に来院して外出の機会を持ってもらっている状態です。

現在、上記の方々にとって生活の基盤が家庭と病院だけになってしまっています。病院へ通っているという事実で安心し、それが入院していた病院であればなおさら離れられなくなってしまっています。つまり、病院に対して依存的になり、病院に自分の居場所を作ってしまいます。果たして病院がそのような場になってしまっていいのでしょうか。本当にその人が望む生活するというはどういうことなのか、その人がその人らしく生活するのを支えるため、STとしてできることは何があるのか・・・まだ私は経験が浅く、自分なりの答えを見出せてなく、悩んでいます。

(ST Y子)

同じような悩みをお持ちの方も多いのではないでしょうか。また、このようなときこんな対応をしたところよい結果が得られた、という体験をお持ちの方もおられることと思います。ぜひ、皆さんのお声をお聞かせください。

事務局 君津中央病院リハビリテーション科言語聴覚室 FAX:0438-36-3867 または 千葉県言語聴覚士会メール chibakenshikai@zp.moo.jp まで。

ST同士が気軽に情報交換や勉強し合える場を、皆さん切望されていると感じます。県士会の学術局で設立を進めている「地域の勉強会(仮称)」がそのような拠点となり、機能を果たしていくのではないかと期待しています。(S子)

次号は、Y子さんから推薦していただいたK氏に引き継いで書いていただきます。お楽しみに!!!

平成 15 年度 理事会の報告

第18回

日時：2004年1月13日（火）20：10～23：20

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：神作、柴田、竹中、野島、村西(理事5名)

田中、古川（書記2名）

（会長より）

・千葉県聴覚検査専門部会について

・関連職能組織からの送付物について

・千葉県理学療法士会の学会後援依頼について

（事務局より）

・千葉県理学療法士会の学会後援依頼について

・千葉県言語聴覚士会ニュースについて

・平成15年度第1回事務局会議について

・平成15年度一般会計補正予算案について

・千葉県新生児聴覚検査専門部会に出席する部員について

（学術局より）

・平成15年度第4回研修会について

・地域の勉強会についてのアンケートについて

・平成15年度学術局補正予算案について

・平成15年度第4回研修会後の懇親会について

（社会局より）

・社会局広報部員について

・社会局の運営について

第19回

日時：2004年2月6日（金）19：45～24：00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、

野原、村西(理事8名) 田中、古川（書記2名）

（会長より）

・千葉県理学療法士協会の広告規定について

・（仮称）千葉市介護支援専門員設立総会の案内について

・NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネット

トワーク全国の集いin千葉2004後援依頼について

（事務局より）

・地域組織検討委員会について

・平成15年度一般会計補正予算案について

・新入会員の承認について

・NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットトワーク

全国の集いin千葉2004後援依頼について

（学術局より）

・地域の勉強会設立について

（社会局より）

・パンフレットの改訂について

・地域リハビリテーション協議会への参入に関する

る他県土会へのアンケートについて

・千葉県内の言語訓練施設の情報公開について

・支援費制度で利用できる施設の言語聴覚士配置状況に関するアンケートについて

・新生児聴覚スクリーニング検査に関するアンケートについて

・ホームページについて

第20回

日時：2004年2月22日（日）13：30～17：00

場所：緑が丘公民館 講堂

出席者：勝又、神作、常田、野島、村西(理事5名)

田中、古川（書記2名）

（会長より）

・栃木県言語聴覚士会の設立について

（事務局より）

・地域組織検討委員会（仮称）について

・新入会員の承認について

・県土会ニュースNo.10について

（学術局より）

・平成15年度第4回研修会タイムスケジュールについて

・平成15年度第4回研修会役割分担について

（社会局より）

・千葉県内の言語訓練施設の情報公開について

・支援費制度に関するアンケートについて

・社会局員として、リオネット城南の大谷武夫氏が承認された。

・新生児聴覚スクリーニング事業に関するアンケートについて

第21回

日時：2004年3月10日（水）20：10～23：30

場所：千葉大学附属病院第3会議室

出席者：神作、柴田、竹中、野島、村西

田中、古川（書記2名）

（会長より）

・都道府県土会からのニュース送付について

（事務局より）

・地域組織委員会について

・県土会ニュース10について

・新入会員の承認について

（学術局より）

・平成15年度第4回研修会タイムスケジュールについて

・地域別勉強会アンケート結果について

（社会局より）

・新生児聴覚スクリーニング事業に関するアンケートについて

実態調査委員会の報告

第4回

日時：2004年2月8日（日）13:00～17:00

場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井、宇野、木村、古森、宮本、竹中、勝又

・アンケート集計結果の分析方針について

新生児聴覚スクリーニング検討委員会 の報告

第2回

日時：2004年1月25日（日）10:00～12:00

場所：千葉大学医学部附属病院第3会議室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、常田、村西

・第1回千葉県新生児聴覚検査専門部会について

第3回

日時：2004年2月15日（日）10:00～12:00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：岡田、荻洲、庄司、常田、村西、斎藤

・千葉県新生児聴覚検査専門部会について

・千葉市における健診体制について

・千葉県こども病院でのアンケート結果について

・筑波大学附属聾学校でのアンケート結果および症例について

(紙面の都合上、報告と協議事項をまとめて記載しております。)

求人情報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページ

<http://users.hoops.ne.jp/crst2002> をご覧下さい。

小張総合病院（掲載期限8月末まで）

所在地：野田市横内29-1

募集：常勤

対象：成人、小児の言語障害

採用時期：随時

問合せ先：04-7124-6892 リハビリテーション科 小林

塩田病院（掲載期限H16.8末まで）

所在地：勝浦市出水1221

募集：常勤2名 新卒、経験者問いません。

採用時期：6月から随時

対象：失語症及びdysarthria、嚥下障害

問合せ先：0470-73-1221

リハビリテーション科 PT 宮島、ST 斎藤

八千代ケアセンター（掲載期限8月末まで）

所在地：八千代市島田55-1

施設区分：介護老人保健施設

募集：常勤

問合せ先：047-488-8788 事務 鈴木

特別養護老人ホーム あすみの丘

所在地：千葉県四街道市大日1623-1

対象者：特養入所者50人、デイサービス30人の一部

募集：非常勤1名(経験ある方尚可)

勤務日：平成16年4月～週2回 2h/回

(曜日・回数・時間は応相談)

問合先：TEL043-421-5188 Fax043-421-5189
(担当：星)

千葉中央メディカルセンター（旧名称加曽利病院）

（掲載期限9月末まで）

所在地：千葉県若葉区加曽利町1835-1

対象：成人（失語症、構音障害、嚥下障害）

募集：常勤1名

採用時期：面接隨時

問合せ先：043-232-3691

リハビリテーション科 工藤、渡辺

成田市保健福祉館 健康管理課 ことばの相談室

（掲載期限9月末まで）

勤務先：成田市保健福祉館 健康管理課（ことばの相談室） 成田市赤坂1-3-1 (JR成田駅西口よりバス10分)

勤務時間：月～金 8:30～17:00 (7時間半)

時給：1160円

雇用期間：1年（平成16年4月～平成17年3月）

問合せ先：健康管理課（ことばの相談室）

TEL0476-27-1111 斎藤

袖ヶ浦市役所

幼児ことばの相談員1名

日額8400円 交通費なし1年間 週2回

問合せ先：袖ヶ浦市役所厚生課 松野

TEL 0438-62-2111 (内) 326 FAX 0438-63-1310

事務局から

1. 求人情報掲載についてのお知らせ

現在、求人情報をホームページと「ニュース」に掲載しています。今後、求人募集の掲載依頼は以下のようにお願いします。

申し込み先：事務局あてにメールまたはFAXで
記載事項：施設名・所在地・募集・対象・問合せ
先・その他（応募資格・採用時期・給与等）
掲載期間：申し込み月から6ヶ月経過すると自動的にホームページから削除しますのでご了承ください。なお、継続を希望される場合は再度ご連絡ください。

「ニュース」には、掲載期間内であれば自動的に掲載されます。

お願い：採用者が決まりましたら、その旨ご連絡をお願いします。

2. 登録内容変更についてのお願い

所属や住所など変更が生じた方は、事務局までご連絡をお願いします。

FAX : 0438-36-3867 または メールで
chibakenshikai@zp.moo.jp

3. 新入会員のおしらせ 正会員（敬称略）

奥田麻里（千葉市児童相談所）
木村 薫（市川市総合福祉センター）

会員数：正会員 178人 会友 14人

.....編集後記.....

桜並木の中を散歩してきました。すれ違う人々が笑顔で輝いていました。桜は人を幸せにする魔法の力があるようです。STとして、触れ合う人々にこのような笑顔と輝きを運んでいけるよう、新年度も精進せねばと思いながら帰ってきました。皆さんも、それぞれの思いをもって新しいスタートを切っていかれることを願っています。

1年間ありがとうございました。

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010
君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室
TEL :(0438)36-1071 FAX :(0438)36-3867
<http://users.hoops.ne.jp/crst2002/>
会員専用パスワード：affordance



